

Ⅱ 診療実績

1. 内科

循環器内科診療顧問 阿部 正宏

例年同様 2018 年度も地域の中核病院として信頼して頂けるように、スタッフ一同努力して参りました。診療実績としては大きな伸びは認められませんでした。診療内容については安定して質の高い医療サービスを提供できたと自負しています。今年度も常勤医の不足は解消できておりませんが、患者さんのニーズに応じて総合診療受診の敷居を下げるために、新たに初診外来も開設しました。これにより診療待ち時間の短縮も期待できます。負担は軽くありませんが、内科系各科で協力しながら病院の活性化に繋げていく所存です。地域の先生方のご紹介をお願いいたします。

疾病・術式・検査名 (2018)

透析センター

新規血液透析導入患者数	17名
糖尿病性腎症	10名
腎硬化症	3名
慢性糸球体腎炎	2名
多発性嚢胞腎	1名
悪性高血圧症	1名
急性血液浄化療法施行患者数	4名
持続血液濾過 (CHF)	1名(2回)
持続血液濾過透析 (CHDF)	3名(14回)
転入血液透析患者数	1名
転出血液透析患者数	9名
腎移植施行血液透析患者数	0名
内シャント関連手術件数	18件
自己血管 A V F 新規作成	18件
内シャント P T A(経皮的血管拡張術)	22件

疾病・術式・検査名 (2018)

単位：件

代謝・内分泌領域

糖尿病教育入院	265
---------	-----

循環器内科領域

心臓MR I	262
冠動脈C T	157
冠動脈MR A	162
心臓カテーテル検査	225
経皮的冠動脈形成術	120
経皮的末梢動脈形成術	-
恒久的ペースメーカー植込術	11
ジェネレーター交換	4
急性心筋梗塞	32

消化器内科領域

C型肝炎-肝硬変（遺伝子型 I 型）に対する経口ウイルス治療薬投与	20
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	37
肝臓に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	3
消化器癌（肝臓以外）化学療法	10

血液内科領域（新規入院患者のみ）

悪性リンパ腫	19
骨髄異型性症候群	15
多発性骨髄腫	7
急性骨髄性白血病	7
急性リンパ性白血病	2
自己免疫性溶血性貧血	1
特発性血小板減少性紫斑病	4
その他血液疾患	2

2. 総合外科・消化器外科

外科部長 野口 岳春

2018年1月から12月の手術症例数は283例でした。前年が323例であり手術症例数は残念ながら減少となりました。

腹腔鏡治療は92例で約1/3を腹腔鏡で行っています。乳腺甲状腺疾患は59症例手術を施行しています。

甲状腺、乳腺外科では非常勤医師の八代先生、堀内先生は変わらず勤務し応援して頂いています。

現在のクオリティは落とさずに診療を継続していきたいと考えております。

疾病・術式・検査 (2018)

単位：件

胃、十二指腸	13
胃癌 幽門側胃切除	5
胃癌 胃全摘術	5
胃癌 残胃全摘術	1
胃癌 バイパス術	1
十二指腸潰瘍穿孔 腹腔鏡下单純閉鎖術	1
小腸	6
腸閉塞 腹腔鏡下イレウス解除術	1
腸閉塞 イレウス解除術（腸管切除あり）	3
腸閉塞 イレウス解除術（腸管切除なし）	2
虫垂	26
急性虫垂炎 腹腔鏡下虫垂切除術	23
急性虫垂炎 開腹虫垂切除術	2
急性中垂炎 開腹回盲部切除術	1

疾病・術式・検査 (2018)

単位：件

大腸	43
結腸癌 開腹結腸切除	23
結腸癌 腹腔鏡補助下結腸切除	9
直腸癌 開腹直腸切除	2
直腸癌 腹腔鏡補助下直腸切除	4
直腸癌 経肛門腫瘍切除	1
良性大腸穿孔 結腸切除術	2
人工肛門造設後 人工肛門閉鎖術	2
胆嚢	60
胆嚢結石症（胆嚢炎） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	51
胆嚢結石症（胆嚢炎） 開腹胆嚢摘出術	4
胆嚢ポリープ（腫瘍） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	5
膵、胆管	1
膵腫瘍 膵頭十二指腸切除術	1
肝臓	2
原発性および転移性肝臓癌 肝区切除術	1
原発性および転移性肝臓癌 部分切除	1
ヘルニア	56
鼠経ヘルニア 前方アプローチによる根治術	53
大腿ヘルニア 根治術	1
腹壁癒痕ヘルニア 開腹根治術	1
臍ヘルニア 根治術	1

疾病・術式・検査 (2018)

単位：件

肛門	5
痔核 結紮切除術	2
痔瘻 根治術	2
肛門周囲膿瘍 切開排膿術	1
乳腺	19
乳癌 乳房切除+リンパ節郭清	7
乳癌 乳腺部分切除+リンパ節郭清	10
乳腺腫瘍 腫瘍摘出術	2
甲状腺	40
甲状腺腫瘍 全摘術	13
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	15
甲状腺機能亢進症 摘出術	6
副甲状腺機能亢進症 摘出術	8
体表	10
リンパ節腫脹 リンパ節生検	7
体表腫瘍 腫瘍摘出術または切開排膿	1
皮下埋め込み型カテーテル挿入	2
その他	2
合 計	283

3. 小児科

小児科部長 恩田 眞弓

小児科の特徴である急性呼吸器感染症、消化器感染症が外来の多数を占めていました。ロタウイルスワクチンが開始されロタウイルス胃腸炎の減少が期待されましたが、2015 冬以降明らかに減少し、同疾患に伴う脱水症、痙攣発作などで入院する例はいませんでした。2017 秋から 2018 春にかけて Influenza がまた流行しました。当科では幸い脳症など重篤な合併症をきたした患児はいませんでした。今シーズンは、昨年と異なり A 型が先行する通常の流行でした。

予防接種では、1 回に接種出来る種類が増え、インターバルも変更になるなど多少混乱が続きましたが順調に接種出来ています。2014 から水痘が定期接種になり、2 度接種になりました。2 度接種になるに従い感染数は減少しました。

子宮頸癌予防ワクチンが開始され、一時的に接種が見合わされました。現在接種可能となっておりますが今年度も接種者もいませんでした。

インフルエンザワクチンは積極的に奨励していますが、まだまだ接種する方が少なく残念です。1 歳未満の赤ちゃん、高齢者、受験生のいるご家族などは家族ぐるみで接種をしていただきたいものです。妊娠中の方にも必要です。

B 型肝炎ワクチンは定期接種になりましたが、対象年齢から漏れる方にも接種していただくよう指導しています。

MR ワクチン 2 回接種に伴い国内での発生はほとんどなくなりました。

アレルギー性疾患は、喘息をはじめ罹患児は多数来院されます。近年、抗アレルギー剤の進歩に伴って喘息のコントロールは良好な経過をたどるようになりました。今年も重症の発作をきたした例は当院ではありませんでした。

予 防 接 種 (2018)

単位：件

BCG	52
B 型肝炎	204
アクトヒブ R (インフルエンザ桿菌)	107
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	150
水痘 (水ぼうそう)	162
MR (麻疹、風疹)	167
インフルエンザ	807
二種混合	43
三種混合	0
日本脳炎	324
子宮頸がん	0
肺炎球菌	87
合 計	2,103
乳児健診	123

4. 内視鏡科

術式・検査 (2018)

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,398
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	989
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	31
	経皮的内視鏡的胃瘻造設術	18
合 計		4,436

5. 脳神経外科

脳神経外科部長 新田 雅之

当院脳神経外科は、現在脳神経外科専門医2名体制で診療を行なっており、年間約120例程度の手術を行なっております。疾患に関しては、脳血管障害（脳梗塞、くも膜下出血、脳内出血、未破裂脳動脈瘤など）、脳腫瘍（良性腫瘍、悪性腫瘍、転移性脳腫瘍）、頭部外傷など脳神経外科に関わる疾患の診断・治療を幅広く行なっております。脳梗塞に関しては、血管内手術による血栓回収術やt-PAを用いた血栓溶解治療、脳梗塞の予防として、内頸動脈狭窄に対する頸動脈内膜剥離術やステント留置術、バイパス手術などを行なっております。脳腫瘍に関しては、私が脳腫瘍を専門としていることから、悪性腫瘍、良性腫瘍など幅広く行なっており、脳腫瘍専門外来も始めております。今後手術ナビゲーションを導入予定です。くも膜下出血に関しては、開頭術によるクリッピング術や、血管内治療によるコイル塞栓術を行い、未破裂脳動脈瘤に対しても同様の治療を行なっております。また、脳卒中や脳腫瘍、頭部外傷など幅広い患者さんに、積極的にリハビリテーションを行なっており、患者さんの状態に合わせて社会復帰や家庭復帰あるいは、地域連携パスを用いて回復期リハビリ病院につなげております。週1回のリハビリカンファレンスも行っております。

専門性の高い手術に関しては、必要に応じて東京女子医科大学から国内トップレベルのエキスパート術者を招聘しており、国内トップレベルの手術を提供できる体制を構築しています。

術式・検査 (2018)

単位：件

脳腫瘍	開頭摘出術	2
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	7
	未破裂脳動脈瘤	7
	頸部内頸動脈ステント留置術	1
	脳動静脈奇形	0
	高血圧性脳内出血	5
	血栓回収術	6
外傷	急性硬膜外血腫	1
	急性硬膜下血腫	3
	慢性硬膜下血腫	35
水頭症	脳室シャント術	4
その他		38
合 計		(*血管内手術) 109

6. 整形外科

副院長 梅原 新英

術式 (2018)

単位：件

外傷

四肢・骨盤骨折	骨折観血の手術、関節内骨折観血の手術	227
四肢・骨盤骨折	人工骨頭挿入術	52
偽関節手術		3
関節脱臼	観血的整復術	4
関節脱臼	非観血的整復術	47
開放骨折・挫創など	デブリードマン、縫合	6
腱断裂（アキレス腱断裂含む）	腱縫合術、腱移行術	10
小計		349

関節手術

膝半月板損傷	半月板切除術・縫合術（関節鏡視下）	10
関節内遊離体（膝、肘、足関節）	関節鼠摘出術（関節鏡視下）	1
膝関節炎など	滑膜切除術（関節鏡視下）、化膿性関節炎清掃術	6
肩腱板断裂手術（関節鏡視下）		10
変形性股関節症	人工股関節置換術、再置換術	19
リウマチ性膝関節症	人工股関節置換術、再置換術	0
変形性膝関節症	人工膝関節置換術、再置換術	16
変形性膝関節症	高位脛骨骨切り術	1
小計		63

術式 (2018)

単位：件

脊椎手術

頚椎症性脊髄症、頚椎椎間板ヘルニア、頚髄損傷など	椎弓形成術	13
環軸椎脱臼・骨折	体外式脊椎固定術	0
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	10
腰部脊柱管狭窄症、腰椎分離こり症など	脊椎固定術	13
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術（鏡視下含む）	12
椎体骨折・偽関節	経皮的椎体形成術	-
	小計	48

その他

骨腫瘍	切除術	1
軟部腫瘍、ガングリオン、滑液包	摘出術	17
ばね指、ドゥケルバン病	腱鞘切開術	27
肘部管症候群	神経移行術	2
手根管症候群	手根管開放術	10
閉塞性動脈硬化症、糖尿病性壊疽など	切断術、断端形成術	8
骨折手術後など	骨内異物除去術	78
その他		9
	小計	152

合計

612

7. 形成外科

形成外科医長 平野 由美

形成外科一般を対象。創傷治癒の観点で傷をきれいにすることを心がけています。

術式・検査 (2018)

単位：件

癒痕拘縮形成手術（顔面）	4
癒痕拘縮形成手術（その他）	3
分層植皮術（25 cm ² 未満）	5
全層植皮術（25 cm ² 未満）	4
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術（25 cm ² 未満）	5
頬骨骨折観血的整復固定術	4
鼻骨骨折整復固定術	5
眼窩骨折観血的手術	2
切断指再接合術	1
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	8
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）（長径 3cm 未満）	13
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）（長径 3cm 未満）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 未満）	55
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 以上， 6 cm 未満）	15
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm 以上， 12 cm 未満）	5
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm 以上）	1
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 未満）	75
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 以上， 4 cm 未満）	11
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm 以上）	5
自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付き）	1

術式・検査 (2018)

単位：件

毛巣洞手術	1
先天性耳瘻管摘出術	2
耳介腫瘍摘出術	4
四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	4
ガングリオン摘出術	17
骨腫瘍切除術	1
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	6
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	7
副耳切除術	2
陥入爪手術	10
レーザー治療	22
糖尿病性壊疽に対する腐骨摘出術	3
骨髄炎手術	2
神経腫切除術（指）	1
頸嚢胞摘出術	1
合 計	306

8. 泌尿器科

術式・検査名 (2018)

単位：件

尿管カテーテル	4
尿管ステント留置	4
TUR-Bt	1
膀胱瘻造設	2
合 計	11

9. 皮膚科

皮膚科医長 永江 美香子
萩原 佐恵子

当院皮膚科では、常勤医師2名、非常勤医師2名で、午前中2診療体制をとっています。皮膚科一般診療を中心として診療を行っており、帯状疱疹のなど比較的軽症患者の入院を受け入れています。

デュピクセント、ゾレア、腋窩多汗症ボトックス、SADBE 治療、エピペン処方が可能です。

生物学的製剤については筑波大、東京医大茨城医療センターとの連携を行っています。パッチテスト用試薬として、金属パッチテスト用試薬 15 種、パッチテストパネル S がございます。

紫外線照射機器はございません。

自費診療として、帯状疱疹ワクチン、脱毛レーザー治療 (Gentle Lase)、ピアッシング (耳垂のみ)、20%塩化アルミニウム液、ハイドロキノン軟膏、グラッシュビスタ (まつげ美容液) 院内処方、男性型脱毛プロペシア、ザガーロ院外処方が可能です。

術式・検査 (2018)

単位：件

レーザー脱毛	26
皮膚生検	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部) (長径 2 cm未満)	4
皮膚切開術 (長径 10 cm 未満)	55
合 計	92

10. 眼科

眼科医長 矢部 美香子

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医1名体制となっております。手術については白内障手術、外眼部手術、および外来網膜レーザー手術などを行っております。月曜は常勤医と筑波大非常勤医師との2診体制で診療を行っております。よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいきたいと考えております。

また、今後も関連病院との連携を強め、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っております。

疾患および術式 (2018)

単位：件

白内障：水晶体再建術	116
麦粒腫 霰粒摘出術	2
眼瞼腫瘍切除	5
眼瞼内反症手術	4
翼状片切除術＋結膜弁移植術	3
合 計	130

1 1 . 歯科口腔外科

歯科口腔外科部長 山崎 善純

現在、常勤医 2 名、非常勤医 1 名の 3 人体制で、診療にあたっております。

おもに、口腔外科的疾患（埋伏智歯、外傷、嚢胞、腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患、唾液腺疾患、口腔感染症、口腔乾燥症、味覚障害、摂食嚥下障害などの口腔機能障害等）を治療対象の主としております。ただし、有病者（障害のある方、重度の基礎疾患のある方）と当院入院中の方については、一般歯科治療も行っております。

基本的に、開業医の先生と治療疾患を競合せず、2 次医療機関（病院歯科口腔外科）での精査加療が必要と思われる方をご紹介していただき、治療後は速やかに紹介元の先生にお戻しするように、病診連携をとるようにしております。また、基礎疾患が多数の方については、主治医の先生（医科）に情報を提供して頂き、適切な処置を心がけております。本年の手術症例の内訳は、全身麻酔例が 24 例で、局所麻酔例は 9 例です。手術症例の内訳は、下表のとおりです。

術式・検査 (2018)

単位：件

抜歯	2
頸部リンパ節生検	5
デンタルインプラント埋入術	2
正中埋伏過剰歯抜歯	1
上顎嚢胞	2
下顎嚢胞	5
術後性上顎嚢胞	1
上顎（良性）腫瘍	1
下顎（良性）腫瘍	3
舌（良性）腫瘍	2
舌白板症	1
舌（悪性）腫瘍	1
舌小帯短縮症	1
口唇（悪性）腫瘍	1
口唇（良性）腫瘍	1
頬粘膜（良性）腫瘍	1
軟口蓋（悪性）腫瘍	1
下顎骨骨折	2
合 計	33

12. 耳鼻咽喉科

術式・検査 (2018)

単位：件

扁桃周囲膿瘍切開術	1
鼓膜切開術	53
鼻内異物摘出術	2
鼻中隔矯正術	2
鼻甲介切除術	4
咽頭異物摘出術	4
扁桃摘出術	13
副鼻腔手術	22
鼓室形成術	3
頸部手術	6
その他	99
合 計	206

13. 麻醉科

麻醉科部長 古謝 宏樹

術式・検査 (2018)

単位：件

全身麻酔症例	
外科	229
整形外科	494
口腔外科	25
脳神経外科	46
泌尿器科	-
形成外科	51
耳鼻咽喉科	39
内分泌科	40
静脈麻酔症例	
泌尿器科	-
整形外科	-
脳神経外科	-
脊髄クモ膜下麻酔症例	
泌尿器科	-
形成外科	1
整形外科	14
外科	4
脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例	
整形外科	-
外科	-
伝達麻酔症例	
整形外科	1
形成外科	1
合 計	945

14. 放射線科

当科では、主にCT、MRI、マンモグラフィー、上部下部消化管透視撮影、点滴静注腎盂尿路造影、その他依頼された一般撮影の画像診断を行っております。

尚、2017年に最新型血管撮影システムが導入されました。このシステムには、最新鋭の平面型X線検出器が搭載されていることから、カテーテルを用いた高度な血管内治療において、より少ないX線で解像度の高い画像が描出可能になりました。

※撮影件数は、画像診断センターページに掲載しております。

【導入装置】



Trinias C12 package (島津メディカルシステムズ社製)
2017年12月設置